

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	生涯スポーツ推進事業費	担当課	教育課
事業内容(簡潔に)	誰もが気軽に参加できるスポーツの機会を提供し、スポーツを通じた市民の健康増進を図る。		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	元気で健やかに暮らせるまちづくり	
	政策	誰もが明るく元気なスポーツのまちづくり	
	施策	スポーツ活動の充実	
関連する個別計画等	韮崎市スポーツ推進計画	根拠条例等	韮崎市スポーツ推進委員規則

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	市民誰もが参加できるニュースポーツ教室や体力測定会を開催し、スポーツを楽しむ機会の提供と自己体力を知ってもらう中で、スポーツを通じた健康づくりを奨励する。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> 各町公民館、体育協会、老人クラブ及び児童センター等からの依頼に対し、スポーツ推進委員を派遣する。ニュースポーツ（ポッチャ・マンカラ・ベタンク・カローリング等）教室で指導する。 スポーツ少年団、各町体育協会及び市内小学校等からの依頼に対し、スポーツ推進委員を派遣する。体力測定会で指導する。 体力測定会及びニュースポーツ教室開催時には、ラジオ体操を行い、スポーツ推進委員が指導することにより、健康づくりに効果のあるラジオ体操の普及促進を図っている。
事業の対象	市民

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	458	2,325	1,098
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	458	2,325	1,098
B	担当職員数(職員E) (人)	0.25	0.25	0.25
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	420	2,736	412
D	総事業費(A+C) (千円)	878	5,061	1,510
主な事業費用の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ教室及び体力測定会実施にかかる講師への謝金 ・スポーツ推進委員会広報誌(委員会だより)発行経費 ・令和2年度～:会計年度任用職員(パート)人件費 ・令和2年度:スポーツ活動継続支援金(休業協力金) 			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 ニュースポーツ教室の開催	ニュースポーツ教室の実施回数	11	1	3
	2 体力測定会の開催	体力測定会の実施回数	9	0	9
	3 ラジオ体操活動団体	ラジオ体操会の団体数	5	5	5
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	ニュースポーツ及び体力測定会の開催は身体を動かすだけでなく、地域の方々とのコミュニケーションを図ることができ、多様な効果を生み出しているため妥当である。			
	2	体力測定会を毎年、継続して開催することで、自己体力の成長、維持具合がはかられているため妥当である。			
	3	誰でも気軽にでき、健康づくりに効果のあるラジオ体操を継続して行う団体を維持することで、地域を中心に、健康づくりの輪が広がりつつあるため妥当である。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			元年度	2年度	3年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	ニュースポーツ教室の開催	延べ参加人数	690	30	90
	2	体力測定会の開催	延べ参加人数	945	0	692
	3	ラジオ体操活動団体	実参加人数	50	40	60
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	地域により偏りはあるが、幼児から高齢者まで幅広く参加している。コロナ禍により開催回数が減ったことで、人数も減少しているが、回復基調にある。				
	2	コロナ禍により、開催ができない年もあったが、規制が緩和された令和3年度からは、徐々に通常に戻りつつあり、体力測定による自己成長の測定や健康に対する意識が上がっている。				
	3	参加人数は各団体により異なるが、年間を通じて、活動している。コロナ禍においても、一定数がラジオ体操に参加している。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)		
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	令和4年度の改善計画 (今後の事業展開説明) <ul style="list-style-type: none"> 東京2020パラリンピック競技大会において、本市が自転車競技のチェコ共和国代表選手のホストタウンとなったことを契機とし、市民のparasportsへの関心が高まっていることを踏まえ、parasports種目をういたニュースポーツの普及及び促進に努める。 日本parasports協会の補助金を活用し、障害者(生涯)スポーツの用具(備品)を購入。 市広報を通じて、市内のラジオ体操会の活動を広く周知し、参加者の拡大と健康意識の向上を図る。 令和4年7月24日(日)スポーツ推進委員会主催のラジオ体操講習会(ラジオ体操)を開催(於:市営総合運動場) 障害者(生涯)スポーツの用具(備品)の購入にかかるparasportsの振興は、教育課だけではなく、福祉課や健康づくり課などの他課と連携、協働のうえ、事業を実施していく。 		
改善の経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度にスポーツ推進委員を13名から20名に増員した。 ニュースポーツ教室におけるメニューを増加、拡充している。 スポーツ推進委員会広報誌(委員会だより)により、体力測定会、ニュースポーツ教室、ラジオ体操を周知している。 韮崎市出前塾講座のメニューに、ニュースポーツ教室を入れている。 		
直近の評価結果	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の改善案	組回覧を通じ、市内のラジオ体操会の活動を広く周知し、参加者の拡大を図る。	
	外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の対応	対象外	
課長所見	子どもから高齢者、障がい者まで年齢、性別を問わず気軽にスポーツに親しむきっかけづくりをさらに広げていく必要がある。そのひとつとして、parasports指導者の育成と用具の整備のソフト・ハード両面での取り組みを推進していく。		